



編集・発行：
日本聖心同窓会 (JASH)
AMASC 東京大会記念基金委員会

○ Vol. 2 | ○ January | ○ 2008

聖心ファミリー通信

AMASC 世界大会・2010 年 マルタ島・に向けて

AMASC(世界聖心同窓会)や 2010 年にマルタ島で開催される世界大会のこと、JASH(日本聖心同窓会)の各同窓会で行われている活動などの情報をお届けしています。

2008 年は聖心会来日 100 周年記念の年

みなさま、新しい年をいかがお過ごしですか。新年最初のお知らせは、年の初めにふさわしい話題・聖心会来日 100 周年についてです。私たちが同窓生として集うことができるのも、すべては 100 年前に 4 人のシスターが来日したことから始まりました。

聖心会は 1800 年に聖マグダレナ・ソフィア・バラによってフランスで創立され、学校もつくられました。その後、聖フィリピン・デュシェーンによってアメリカ大陸へと進出。また、フランスからシスターたちがオーストラリアに派遣され、聖心の学校はオーストラリアにも創立されました。

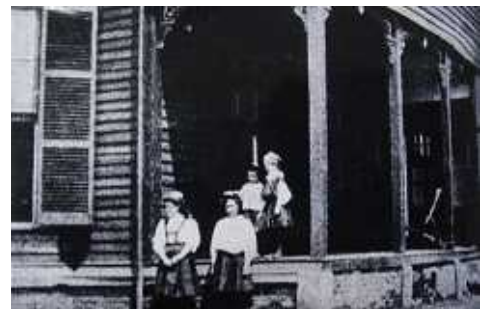
1908 年、そのオーストラリアから、日本に 4 人のシスターが来日。日本の聖心会の基礎を築き、東京白金の地に、語学校（現在の聖心インターナショナル・スクール）と聖心女子学院を設立しました。これが、日本における聖心会の活動の始まりです。

聖心会日本管区 100 年の歴史を顧みると、聖心会ではその発展を大きく 5 つの段階に分けることができます。としています。

- (1) 日本における聖心会の地固めと拡張、その喜びと苦難の時代
- (2) 戦後、復興へむけての困難と結実の時代：日本から広くアジアの国々へ（韓国、台湾、フィリピン）
- (3) 異文化との出会い、共存、豊かさとのチャレンジの時代
- (4) 第 2 バチカン公会議の指針に従って歩んだ刷新道程：聖心会として教会、世界への応答を模索した時代
- (5) 変動する世界の内にあって国際的共同体として、「連帯と共同責任」を生きる呼びかけにどのように応えていくかを問われている時代

このような聖心会の歴史の背景には、シスター方の情熱と努力があり、それなくしては私たち同窓生という存在もなかったことでしょう。聖心会来日 100 周年というこの記念の年に、感謝の気持ちをこめて、母校を訪問したり、シスター方に手紙を書いてみるはいかがでしょうか。

文章：<http://www.u-sacred-heart.ac.jp/>
<http://www.sacred-heart.or.jp/>
参考・引用
写真協力：聖心会および聖心女子大学



麻布広尾町の修院(1908年：仮住まいの時)



1909 年完成の聖心女子学院本館校舎

✽ J A S H の日 ✽

日時：2008 年 3 月 14 日(金)
11:00 開会、12:30 昼食会
場所：聖心女子大学 宮代会館
会費：1,500 円
申込締切：2 月 29 日(金)必着

申込希望・ご質問などは、

出島敏江：tosdejima@u01.gate01.com
加藤邦子：kuniko.mtk@jcom.home.ne.jp
まで

100周年記念感謝ミサが 大学聖堂であげられました

2008年1月13日、聖心女子大学構内の聖堂にて、聖心会来日100周年記念ミサ-感謝と再派遣-があげられ、聖心会のシスター方をはじめとし、そのご家族、他の修道会のシスター、長年同窓会活動に関わられた同窓生など400名を越す方達が100周年をともに祝いました。また、同窓生はお祝いとして、聖心の伝統的な暖かいお茶の着席形式のHigh-teaを準備しました。

ミサは岡田武夫大司教ほか、ご縁の深い18人の神父様による共同ミサとなりました。ミサの始めには、インターナショナルスクールのオーケストラにより音楽が奏でられ、荘厳な雰囲気の中にも華やかさを添えていました。ミサの後、聖堂内で聖心会の歩みがスクリーンで紹介され、日本での聖心会の活動の歴史を顧みることができました。

High-teaでは、全国の同窓生から集まった、手製のお菓子などが振舞われ、心のかもった温かいものとなりました。またお手伝い志願には若い同窓生も含まれ、世代に関係なく聖心の伝統を感じることができました。このような聖心スピリットを感じることができるのは、100年の間、シスター方のご指導して下さった賜物でしょう。



High-teaの様子：
ミサ参加者が招待され、同窓生が温かくおもてなしました。

High-teaの会場には、聖心会の歴史と各学校の歩みを紹介した展示スペースがあり、多くの方がシスター方の説明を聞きながらご覧になっていました。



展示スペース：
来日当初の修院や学校の写真も展示されていました。

100年という節目は、同窓生それぞれが、聖心の長い歴史と自分とのつながりを感じ、シスター方に改めて感謝する良いきっかけになったと思います。創立者である聖マグダレナ・ソフィアのお言葉「聖心はひとつの家族です」を体感する一日でした。

今回は修道院主催のミサだったので、参加人数に制限があり、またその後のお手伝いのことも、全卒業生に周知できなかったことが残念だったという声がありました。この記念すべき節目をきっかけに、卒業生もあらためて母校とのつながりを感じる企画があっても良いのではとの意見が多くでした。

3月には聖心同窓生は誰でも参加できる「JASHの日」があります。これを機会に参加してみたいかがでしょう。詳細は1ページ目をご覧ください。

聖心会来日100年の歩み

1908年

4人のシスターがオーストラリアより来日。語学校と聖心女子学院設立。
(語学校は現聖心インターナショナル・スクールの前身)

1916年

私立聖心女子学院高等専門学校開校。(現聖心女子大学の前身)

1923年

小林聖心女子学院設立。(兵庫県住吉にて開校)

1947年

聖心女子学院英語専攻科開設。
(現聖心女子専門学校の前身)

1948年

新学制の実施に伴い、旧制の聖心女子学院高等専門学校を改組して、日本における最初の新制女子大学の一つとして、聖心女子大学発足。

1952年

不二聖心女子学院を、静岡県裾野に開校。

1963年

札幌聖心女子学院を開校。

2000年

聖心会創立200周年。

2008年

聖心会来日100周年。

😊聖心に関する情報を、メールにて配信します。

このニュースレター配信をご希望の方は、下記メールに「お名前・同窓会名と回生・ご登録希望のメールアドレス」をお送りください。

連絡先：jash-kikin@hotmail.co.jp

